

没後50年

郷土史家 森徳一郎

浅野研究から一宮市史へ

博物館講座

尾張平野を語る26
地域史研究を語る
午後1時30分～午後3時

3/4
(土)

3/11
(土)

3/18
(土)

詳しくは裏面へ

墓石を調査する晩年の森徳一郎 長谷川公茂氏撮影

一宮市博物館 令和4年度 企画展

令和5年

2/25  3/26 

《休館日》毎週月曜日、3月22日(水)

《開館時間》午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

《観覧料》一般600円(480円)、高校・大学生300円(240円)、中学生以下無料

※常設展観覧料を含む。()内は20名以上の団体料金。

※一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。

※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライロID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料。

《主催》一宮市博物館

一宮市博物館では、一宮市域の郷土史研究の先駆者・森徳一郎の没後50年を記念して、その業績を振り返るとともに、郷土史研究の意義、郷土の豊かな文化の土壌を伝える展覧会を開催します。

森徳一郎（1885～1972）は、丹羽郡浅野村（現在の一宮市浅野）の味噌醤油醸造の家に生まれました。大正初年より浅野に関する史料蒐集に没頭し、その浅野研究は大正6年（1917）の浅野公園開園及びその記念誌『浅野荘と浅野氏』に結実します。これを契機に郷土史家としての道を歩み始め、キリシタン研究、尾張地域史研究へと対象を広げていきます。やがて「愛知県史」や「一宮市史」の編さん事業にも関わり、その成果は現在の一宮市の歴史の基礎となっています。

この展覧会では、一宮市立中央図書館に保管されている一宮市史編さん資料をはじめ、関連する考古遺物や自筆のスケッチなどを森徳一郎の事績とともに紹介します。

博物館講座

尾張平野を語る26 地域史研究を語る

午後1時30分～午後3時

3/4
(土)

近世後期、騒ぎ立つ尾張野の村々
一中島郡苅安賀村の「村方騒動」を中心として一

講師：元一宮市文化財保護審議会委員 小川 一朗氏



3/11
(土)

森徳一郎さんと一宮史談会のことなど

講師：愛知東邦大学地域創造研究所顧問 森 靖雄氏



3/18
(土)

森徳一郎さんを偲ぶ

講師：円空学会顧問 長谷川 公茂氏



会場参加

- 定員** 各日50名（抽選）
参加料 各日400円（資料代、別途観覧料が必要）
申込 郵便番号・住所・参加者全員の氏名（ふりがな）・電話番号・メールアドレス・希望日（複数可）をハガキに記入し、「尾張平野を語る」と明記の上、一宮市博物館まで郵送。2月17日（金）（必着）。同居家族に限りハガキ1枚でまとめて応募可。締切後、博物館からハガキにて当落を通知します。

※新型コロナウイルス感染状況により、オンライン開催のみになる場合があります。

オンライン参加

- 定員** なし **参加料** 無料
形式 YouTube Live
・インターネット回線、パソコンやスマートフォンなどの機器はご自身でご用意ください。
・当館の通信環境は事前に確認しておりますが、参加者側の通信環境によってはご覧いただけない場合がございます。
申込 博物館 WEB サイトから申込。2月28日（火）午前10時締切。締切後、メールにて視聴 URL と配布資料のダウンロード方法を連絡します。

お申込はこちらから



Ichinomiya City Museum
一宮市博物館



〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390番地
TEL 0586-46-3215
FAX 0586-46-3216
URL <https://www.icm-jp.com/>

館内でのマスクの着用や入館時の手指消毒にご協力ください。
新型コロナウイルス感染症の影響により、変更が生じる場合があります。その場合は、博物館のWEBサイトやSNSでご案内します。

交通案内

- 「名鉄名古屋駅」より名鉄名古屋本線特急岐阜行に乗車、「国府宮駅」にて普通岐阜行に乗り換え、「妙興寺」駅下車。南口より徒歩7分。
- 「名古屋駅」よりJR東海道本線岐阜行に乗車、「尾張一宮」駅下車。タクシーで約10分。
- 一宮市生活交通バス「ニコニコふれあいバス」にて「博物館西」下車。徒歩5分。

